

2018年北辰会総会/懇親会の反省会 および北辰V刊行慰労会

北辰会事務局

参加者はこれらに関わった32名。7月4日に十三東「こがんこ」で開催されました。下記の手順で和やかに進行、終了致しました。

- 1、司会挨拶 小河原副会長 26期
- 2、岡田会長 18期 挨拶
- 3、前田事務局長 25期 全般、報告
- 4、兼田事務局次長 26期 文集校正作業、総会写真班の活動、北辰会 HP の報告
- 5、前田泰子司会 24期 感想
- 6、乾杯 水口会計監査 17期
- 7、会食、懇談
- 8、閉会の挨拶 畑地常任幹事 23期

反省会・慰労会の模様

1、 岡田会長の挨拶

冒頭、大阪の地震、豪雨被害に対し、事務局や幹事さんがそれぞれ素早く安否確認などの情報連絡が行われ、お見舞いの言葉と大きな被害が届いていないとの報告が有りました。

2018年北辰会総会・懇親会の賛助金運動は一定の下降減少は食い止めました。幹事皆様のご努力に感謝と労いの言葉が有りました。そして、4年後の北辰会総会・懇親会へ力強いメッセージとなりました。と結ばれました。

2、 事務局長報告

先に半年の活動報告で詳細に説明しています。執行部は会員皆様が元気が出るように、そして、北辰会が皆様のオアシスになれるよう頑張っています。幹事会、北辰会報、「北辰 HP」～北辰会の広場～、北辰会文集「北辰V」～ほたるに雪に～の発行、常任幹事、幹事、事務局員の補充など北辰会は有機的に活動しています。その表れが総会参加者の低下減少の食い止め、賛助金の目標達成に表れています。4年後の北辰会総会・懇親会開催に自信を持たせて頂きました。

文集発行では上下巻の2冊になった為、北辰会の会計にしわ寄せがきていますが皆様のご支援と執行部の努力で乗り越えると思っています。と北辰会総会・懇親会の低下減少を食い止めたことで一息ついた様子です。

3、 兼田事務局次長の文集校正作業、総会写真班の活動、「北辰会 HP」の報告、

校正作業は13期から62期まで18名の体制で取り组まれました。書いた人、読む人、本にする人の3者の一体感を感じた。なお一層、北野高校定時制と北辰会に誇りを持つことが出来ました。多くの人によんで頂きたいと報告が有りました。

総会写真班は25期;渡部さん、26期;猪之良さんと兼田の3名で担当。撮影した約700枚の中から選定し、総会・懇親会報告、写真集にまとめて北辰会 HP に掲載しました。

「北辰会 HP」はどんどん存在感を發揮しています。掲載原稿も、閲覧数を増えています。閲覧した後の交流も見られます。今年は毎月の閲覧数が2500回ペースになっています。

す。閲覧を楽しみにしている人がいると感じている。やはり活性化のベースは北辰会の活動と足元の確かさにあると思うと報告が有りました。

3、前田泰子司会者の感想

冒頭、私は形から入ります。服装が決まるとスイッチが入ると笑いをとりました。相変わらず人を引き付ける導入です。今回の懇親会導入部は会長の「見上げてごらん夜の星を」を歌いたいという強い思いからシナリオを考えました。しかし、それは先作詞者の永六輔さんの定時制に掛ける思いのテレビ番組からのパクリだったそうです。どうであれ、1987年の母校創立50周年の記念式典、祝賀会の司会から30年に及ぶ全ての北辰会総会・懇親会の司会を担当されました。多くの人から称賛された裏には資質以外にもシナリオを作り、書くなどの努力が隠されていることを垣間見ました。

4、水口会計監査 乾杯の音頭

大病を克服されて総会実行委員、北宸Vの校正作業等に精力的に参加して頂きました。これから会計監査にも取り組むと挨拶がありました。

5、会食、懇談

何時ものように、期を超え和気あいあいに進みました。明日への元気と一層の北辰会の深化を感じる会となったようです。今回は夕方の開催のため、2次会は少なかったようです。

6、閉会の挨拶：畑地常任幹事

冊子「北宸V」の校正作業に23期幹事の皆様と参加させて頂きました。校正作業の中で、原稿を読むことによって、母校のヒストリー、北辰会の歴史、過去、現代、そして未来へと、感覚を新たに享受することが出来ました。そしてそこに登場する素晴らしい方々、団体の皆さんは、猛烈で、エネルギーで、アカデミックで、ワールドワイドで、なんと素敵な先輩、後輩諸氏でしょうか。

作業に参加させて頂いて無駄ではなかった。良かった。機会を与えて頂いた本部の皆さまに感謝の気持ちで一杯です。と締め括られました。

以上